

# 大熊町一時立入時放射線モニタリング結果(きなやん宅)

測定日 : 平成24年10月7日(日)

測定時間 : 9:45~12:50

測定器 : Polimaster PM-1610  
ATOMTEC AT6130C

測定点 : 地上1.0m高さ

測定者 : (東大和久)きなやん・坂さん

被ばく線量 : 24 $\mu$ Sv(借用APD)

※Polimaster PM-1610は、(株)ラド・ソリューションズ(022-342-8727)の提供協力品です。

9:00 : 道の駅ならは着0.24 $\mu$ Sv/h

: 受付免許証/許可書確認

防護装備着用、APD/トランシーバー借用

9:15 : 出発

9:45 : 一次立入開始

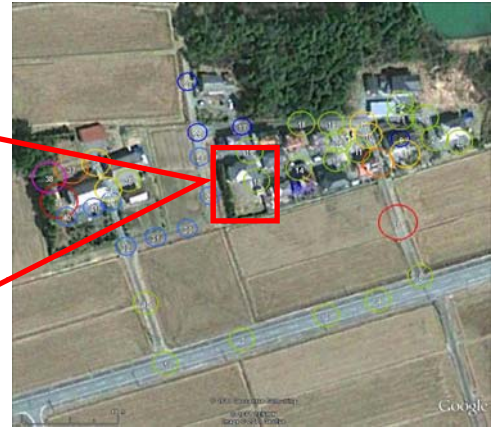
12:50 : 一次立入終了

14:00 : スクリーニングサーベイ

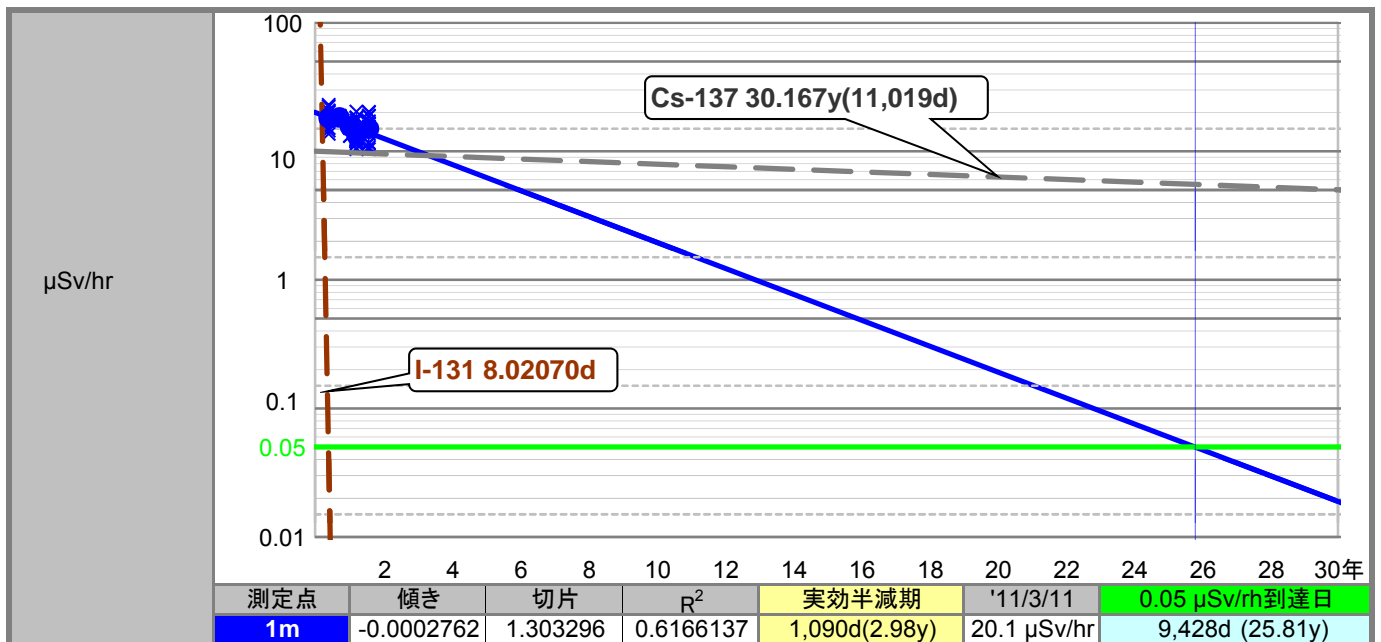
>13kcpm 拭き取り除染を実施

人・物とも<13kcpm で搬出・持ち出し可

14:30 : 終了



家屋内2階は、春の長雨や台風で新たに持ち込まれ、1階は、泥棒達の土足と割れたガラス戸から新たに持ち込まれました。これらにより実効半減期は、最長8.81年と長くなりました。しかし、庭は、2011年3月中に満遍なく汚染したままで、使用済燃料プールに鉄骨を落として、水しぶきをあげて再飛散させたりしているにもかかわらず、庭の線量率を大幅に上げるまでには寄与していません。風に吹き飛ばされるに任せて、線量率が変動しているものと思われます。



Cs-134の半減期は2.0648y(754.19d)、Cs-137の半減期は30.167y(11,019d)です。実効半減期は、この2つの物理的半減期と雨風除染等によって減少する環境的半減期によって決定します。Cs-134が減衰するとCs-137が残り、実効半減期も大きくなると予想されます。

----- Cs-137の減衰直線です。ただし、存在量が不明ですので、30.167年という時の長さだけを感じて下さい。

----- I-131の減衰直線です。存在量が不明ですので、3月15日午前9時00分正門付近の11,930  $\mu$ Sv/hrとしました。